



【山種美術館 広尾開館 10 周年記念特別展】
Seed 山種美術館 日本画アワード 2019 — 未来をになう日本画新世代 —
Yamatane Museum of Art NIHONGA AWARD: Seed 2019
— Meet the Future of Nihonga —

開催概要

山種美術館では、日本画の新たな創造に努める優秀な画家の発掘と育成を目指し、公募展「Seed 山種美術館 日本画アワード 2019」を開催いたします。

1966(昭和41)年、日本初の日本画専門の美術館として開館した当館は、日本画の奨励・普及活動の一環として、1971(昭和46)年に「山種美術館賞」を創設しました。以後、1997(平成9)年までの隔年14回にわたって実施した「山種美術館賞展 今日日本画」は、当時、新人の登竜門として広く注目を集めていました。

2016(平成28)年には、創立50周年を記念し、「山種美術館賞展」の趣旨を継承しつつ、推薦制から公募制に改めるなど、時代に即したかたちで装いを新たに「Seed 山種美術館 日本画アワード」をスタートさせ、全国から約260点の応募作品が寄せられました。今回はその第2回目となり、「山種美術館賞展」から数えて通算16回目にあたります。

名称に使用した「種」を意味する「Seed(シード)」には、創立者で初代館長の山崎種二の「種」、山種美術館の「種」、そして日本画の未来につながる「種」を発掘し、育てるという願いを込めました。当館では、日本独特の自然や風土の中で、長いときをかけて磨かれてきた日本画の魅力を、世界に向けて発信するとともに、未来に引き継いでいきたいと考えています。本アワードは、当館の活動における最も重要な取り組みの一つであり、この取り組みを通して、新しい時代に向けた日本画家の育成と日本画の発展に貢献することができればと願っています。これからの日本画界、そして日本画の将来をになう若手アーティストの皆様からのご応募をお待ちしています。

- **展覧会名** : 【山種美術館 広尾開館 10 周年記念特別展】
Seed 山種美術館 日本画アワード 2019 — 未来をになう日本画新世代 —
Yamatane Museum of Art NIHONGA AWARD: Seed 2019 — Meet the Future of Nihonga —
- **会 期** : 2019年8月10日(土)～8月23日(金)【12日間】
- **主催・会場** : 山種美術館(〒150-0012 東京都渋谷区広尾 3-12-36)
- **後 援** : 文化庁、東京都、読売新聞社
- **協 賛** : セイコーホールディングス株式会社
- **協 力** : 谷中得応軒
- **開館時間** : 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
- **休 館 日** : 8月13日(火)、19日(月)
- **入 館 料** : 一般700円(500円)・大高生500円(300円)・中学生以下無料
 * ()内は20名以上の団体料金、および前売料金 * 障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)は無料
 * その他の割引情報は当館HPをご覧ください
- **展示予定作品** : 約50点 * 出品作および展示期間は変更される場合があります
- **交通機関** : JR・東京メトロ日比谷線 恵比寿駅より徒歩約10分
 恵比寿駅西口前より都バス(学06番 日赤医療センター前行)広尾高校前下車、徒歩1分
 渋谷駅東口ターミナル54番乗り場より都バス(学03番日赤医療センター前行)東4丁目下車、徒歩2分
- **問い合わせ** : 03-5777-8600(ハローダイヤル 電話受付時間: 8:00～22:00)
- **URL** <http://www.yamatane-museum.jp/> / Facebook <https://www.facebook.com/yamatane-museum>
 Twitter <https://twitter.com/yamatane-museum> / Instagram https://www.instagram.com/yamatane_museum/

報道関係の方からの
 本件に関する
 お問い合わせ先

展覧会広報事務局(ユース・プランニングセンター内) 担当/岩川・高橋
 〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 ヒューリック渋谷一丁目ビル 3F
 TEL: 03-6821-9100 FAX: 03-3499-0958 E-mail: yamatane-pr@ypcpr.com

■応募要項：前述の展覧会は、以下の公募の受賞・入選作品により構成します

I 出品規定：

- 1) 資格 満45歳以下(2019年4月1日時点)、日本国内在住者(国籍不問)
- 2) 部門 日本画(表現や内容は自由とする) 3) 点数 1人1点
- 4) 出品料 1次審査は無料、本審査出品者(1次審査通過者)のみ10,000円(税別)
- 5) 応募作品 a. 本人制作による新作に限る：応募時から遡って1年以内に制作された作品とする／共同制作による作品は不可／個展、グループ展などで発表された作品は可／公募展などの既発表作品およびその作品に加筆した作品は不可 b. 平面作品に限る：立体作品、映像作品は不可 c. 形状：額装、軸装、屏風装いずれも可分割画面も可／パネルのみは不可〔作品保護のため、原則額装(仮縁可)〕／額、仮縁は展示に耐え得る吊り金具を必ず付けること／アクリル、ガラス使用不可 d. 作品の大きさ：外寸 縦170cm×横170cm以内(目安S規格で100号程度／額、枠、表具含む 分割画面の展示範囲も上記規定内) e. 作品の厚み：10cm以内(厚みは作品および額装を含めたもの) f. 作品の重量：30kg以内 g. 画材：基本的には日本画の画材である墨、岩絵具、胡粉、膠などを主に使用すること／ミクストメディア(混合技法)も可／日本画の画材を中心に使用しながら、部分的にアクリル絵具、油彩、水彩も使用可／写真の使用は不可(カラージュへの使用不可)／基底材は紙、絹のほか、綿布、麻布(カンヴァス)も使用可(板に直接描いた作品は不可)／多様な画材を使用しながらも、従来の日本画の技法に立脚した作品 h. 落款(署名および印)は入れないこと

II 応募期間：2019年2月20日(水)～4月8日(月)

III 選考方法：2段階審査

- 1) 1次審査：下記審査員および山種美術館学芸部による作品の写真審査
 応募案内ページ(<http://www.yamatane-museum.jp/seed2019.html>)より応募
 1次審査出品料：無料
- 2) 本審査：下記審査員による1次審査通過作品の審査
 本審査出品料：10,000円(税別)

審査員：竹内 浩一(日本画家) 佐藤 道信(東京藝術大学 教授)
 松村 公嗣(日本画家) 宮廻 正明(日本画家)
 安村 敏信(一般財団法人 北斎館 館長)
 山下 裕二(明治学院大学 教授)
 山崎 妙子(山種美術館 館長) *敬称略

IV 審査結果発表：2019年6月上旬

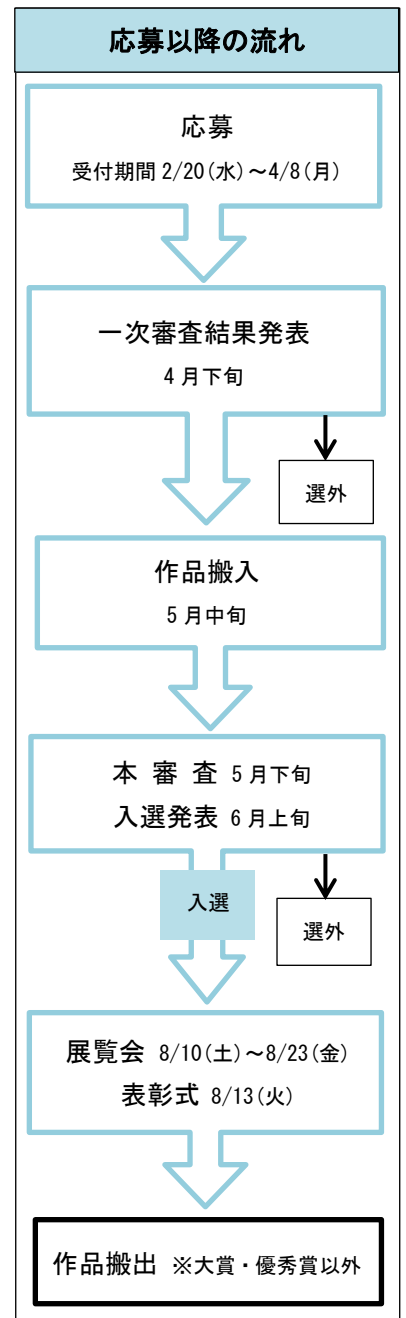
- 1) 山種美術館HP(<http://www.yamatane-museum.jp/>)上にて審査結果を発表
- 2) 入選者および選外者には、Eメールと郵送にて通知
- 3) 入選作品は「Seed 山種美術館 日本画アワード 2019」において展示、図録に掲載
 - ◆大賞 1名 副賞 200万円 ◆優秀賞 1名 副賞 100万円
 - ◆特別賞(セイコー賞) 1名 副賞 腕時計
 - ◆奨励賞 5名 副賞 画材(谷中得応軒)

V 表彰式：2019年8月13日(火)

VI 注意事項：* 応募前に必ずお読みください

- 1) 未乾燥の状態や移動に耐えることのできない脆弱な作品、他の作品を破損や汚損する恐れのある作品は受け付けることができません
- 2) 本審査出品料の振込手数料は、各自ご負担ください
- 3) 支払い後の出品料は、理由の如何に拘わらず返金しません
- 4) 出品規定並びに応募方法に違反する場合は、審査の対象外もしくは失格となります
- 5) 入選・受賞が決定された後でも、出品規定および法令等に反していることが明らかになった場合は、その入選・受賞を取り消しとします
- 6) 審査結果の問い合わせには応じません
- 7) 審査に対する異議申し立てには応じません
- 8) 入選作品は主催者が撮影し、その画像および申込用紙の記載事項は、本展の展覧会、図録、広報印刷物、ホームページ、報道等の取材に使用、掲載されることを、出品者は承諾するものとします
- 9) 大賞・優秀賞受賞作品は副賞賞金による買上とし、この作品に関する所有権、著作権等、一切の権限は主催者に帰属するものとします
- 10) 応募者の個人情報、本アワード以外の目的、用途には使用いたしません
 個人情報の保護には最大限努めるとともに、適切な管理を行います

* 掲載の情報は、2018年8月現在の予定です * 展覧会・公募の詳細については、当館HP(<http://www.yamatane-museum.jp/>)をご確認ください



■応募案内ページ----- <http://www.yamatane-museum.jp/seed2019.html>

■応募に関するお問い合わせ先 ----- Seed 山種美術館 日本画アワード 事務局

E-mail : seed2019-yamatanemuseum@tokyo-marui-art.jp